

2013年11月7日に本院の集学治療病棟で、重症敗血症/敗血症性ショックで治療を受けた方へ

研究 重症敗血症/敗血症性ショック有病率に関する一日世界的横断研究の実施について

1. 本研究の意義および目的

世界各国で重症敗血症/敗血症性ショックの発症率と治療方法、予後を調査する。

2. 研究の方法

治療には全く介入しません。施設情報、普段測定する検査値(血液検査、動脈血ガスなど)、治療方法などのデータを利用させていただきます。経過を30日間追跡調査し、12月7日に終了します。

3. 試料等の保存および使用方法について

特別な資料は利用しません。ドイツに設けられる安全を確保したサーバーに世界中のデータが集められますが、個人を特定するようなデータは収集しません。匿名化したデータベースとなります。本院でのデータは30日間の追跡調査後、データの正確性が確認され次第破棄します。ドイツに送られたデータは解析のため1年間保存されます。

4. 研究全体の期間と予定症例数

11月7日に集中治療室に入室した重症敗血症/敗血症性ショックの患者さんだけが対象となります。

5. 研究結果の公表について

学会、科学雑誌で全体の結果を発表します。

6. 個人情報に関して

個人情報特定に関する情報は用いません。

7. 本研究への参加を拒否する場合

データの利用を拒否される場合は申し出てください。

8. 研究機関、研究責任者および研究者

【研究機関】 北海道医療センター

【研究責任者】

救急科・医師・吉田真一郎

9. 連絡先

救急科・吉田真一郎

011-611-8111

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい